

日出町教育委員会
点検・評価報告書
(令和元年度実施事業対象)



令和2年12月
日出町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第二十六条の規定に基づき、令和元年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告します。

— 目 次 —

I 点検・評価制度の概要

1	点検・評価の趣旨	1
2	点検・評価の対象及び対象期間	1
3	点検・評価の方法	2

II 教育委員会の会議等の状況

1	教育委員会の構成員	2
2	教育委員会開催状況	2
3	教育委員会審議状況	2
4	教育委員会会議以外の活動状況	3
5	教育委員会会議及び教育委員の活動実績	
	(1) 令和元年度 教育委員会会議開催実績	4
	(2) 令和元年度 教育委員活動実績	9

III 施策の点検・評価

1	点検・評価の項目	15
2	点検・評価シートの記載方法	16
3	点検・評価のシート	
	(1) 人権を尊重する社会づくり	
	①人権教育・啓発の推進	17
	(2) 幼稚園教育の充実	
	①教育内容の充実	18
	②教職員の資質向上	19
	③施設・設備の充実	20
	④家庭・地域との連携	21
	⑤小学校との連携	22
	⑥預かり保育の充実	23
	(3) 義務教育の充実	
	①確かな学力の育成	24
	②豊かな心の育成	25
	③健やかな体の育成	26
	④特別支援教育の充実	27
	⑤地域・家庭・学校との連携	28

⑥学校給食の充実	29
⑦施設・設備の充実	30
(4) 社会教育の振興	
①世代に応じた学習機会の提供	31
②子どもの健全育成	32
③公民館活動を通じた人・地域づくり	33
④図書館活動・サービスの充実	34
⑤子ども読書活動の充実	35
(5) 歴史・文化的資源の保存・活用	
①歴史・文化的資源の調査・研究	36
②歴史・文化的資源の保存・活用	37
③歴史・文化的資源の愛護・啓発	38
(6) 芸術・文化・スポーツの振興	
①自主的で創造性豊かな芸術文化の振興	39
②芸術・文化の創造と鑑賞機会の充実	40
③ライフステージ（世代）に応じたスポーツの推進	41
④競技スポーツの推進	42
(7) グローバル人材の育成	
①グローバル人材の育成	43

IV 点検・評価第三者委員会の意見

1 点検・評価第三者委員会委員の構成	44
2 点検・評価第三者委員会会議の状況	44
3 令和元年度事業 点検・評価第三者委員会 委員の意見（総評）	
(1) 全体意見	45
(2) 各主要施策意見	45

I 点検・評価制度の概要

1 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号。以下「法」という。)の一部改正(平成19年6月公布)に伴い、各教育委員会において、法の規定に基づき、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出することが義務付けられました。

本町教育委員会では、平成29年度に終了した「第1期日出町教育振興計画」の成果と課題を検証するとともに日出町における教育の現状や国・県の動向を踏まえながら目指すべき教育の方向性を示し、具体的に実現していくために「第2期日出町教育振興計画」を策定しました。

各施策の実施に当たっては、年度毎にその進捗状況を点検及び評価することにより、各施策の展開について、必要な見直しを図るとともに、町民への説明責任を果たし、効果的な教育行政を推進することが重要であると考えています。

そこで、本町教育委員会では、「第2期日出町教育振興計画」の取組状況を基に、学識経験者の知見を活用し、法第26条の規定に基づく点検・評価を行い、ここに報告書をまとめました。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象及び対象期間

(1) 対象

教育委員会の活動状況及び平成30年3月に策定した第2期日出町教育振興計画に掲げる具体的施策

(2) 対象期間

平成31年4月～令和2年3月

3 点検・評価の方法

- (1) 「第2期日出町教育振興計画」の各施策について、教育委員会が点検・評価を行う。
- (2) 点検・評価を行うに当たり、客観性及び透明性を高めるため、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用し、報告書を作成する。
- (3) 報告書は、日出町議会に提出するとともに、ホームページ等に公開する。

II 教育委員会の会議等の状況

1 教育委員会の構成員（令和2年3月末現在）

教育委員会は、地域の実情に応じた教育行政を行うことを目的として設置された行政委員会で、教育長と4人の委員から成る合議制の執行機関です。

職名	氏名	任期
教育長	堀 仁一郎	令和1年10月20日～令和4年10月19日
教育長職務代理者	木付 尚巳	平成30年10月 1日～令和4年 9月30日
教育委員	佐藤 公康	令和2年 3月26日～令和6年 3月25日
教育委員	阿部 雅子	令和1年 6月25日～令和5年 6月24日
教育委員	利光 弘文	平成29年 2月17日～令和3年 2月 5日

2 教育委員会開催状況（詳細は令和元年度教育委員会会議開催実績）

教育委員会の会議は、毎月行っている「定例教育委員会」と必要に応じてそれとは別に行っている「臨時教育委員会」がある。

令和元年度のそれぞれの開催状況については、令和2年3月末現在、定例教育委員会12回、臨時教育委員会3回となっている。

3 教育委員会審議状況（詳細は令和元年度教育委員会会議開催実績）

法第25条の規程に基づき、令和元年度は52件の議案について審議した。また、審議案件の他に74件の報告及びその他協議を行った。

- 4 教育委員会会議以外の活動状況（詳細は令和元年度教育委員活動実績参照）
教育委員は、教育委員会会議以外にも各種行事への参加、学校訪問、他団体との会議等様々な活動を行っている。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（事務の委任等）

- 第二十五条 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その権限に属する事務の一部を教育長に委任し、又は教育長をして臨時に代理させることができる。
- 2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる事務は、教育長に委任することができない。
- 一 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。
 - 二 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。
 - 三 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。
 - 四 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
 - 五 次条の規定による点検及び評価に関すること。
 - 六 第二十七条及び第二十九条に規定する意見の申出に関すること。
- 3 教育長は、教育委員会規則で定めるところにより、第一項の規定により委任された事務又は臨時に代理した事務の管理及び執行の状況を教育委員会に報告しなければならない。
- 4 教育長は、第一項の規定により委任された事務その他その権限に属する事務の一部を事務局の職員若しくは教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員（以下この項及び次条第一項において「事務局職員等」という。）に委任し、又は事務局職員等をして臨時に代理させることができる。

5 教育委員会会議及び教育委員の活動実績

(1) 令和元年度 教育委員会会議開催実績

会議開催日	区分	議事・報告(内容)	結果
平成31年4月2日 (火)	臨時会	議案 ①各学校の各種主任の承認について 報告 ①学校給食センター建設事業の進捗状況について	承認
4月24日 (水)	定例会	議案 ①区域外就学について ②日出町幼児教育の振興及び町立幼稚園のあり方検討委員会設置要綱について ③日出町立学校管理規則の一部改正について 報告 ①平成31年度教育委員会の事務分掌について ②日出町奨学金の認定状況について ③小中学校の運動会出席について ④大分県市町村教育委員会連合会総会について ⑤日出町自殺対策連絡協議会委員について ⑥学校給食のアレルギー対策について ⑦埋蔵文化財の調査について その他 ①5月・6月行事予定について ②学校訪問の日程について ③第5回定例教育委員会開催日	承認 承認 承認
5月28日 (水)	定例会	議案 ①区域外就学について ②指定校の変更について 報告 ①学校訪問について ②教科用図書採択協議会について ③校内研究会及び公開授業の日程について ④点検評価委員会に対する内部評価について ⑤埋蔵文化財試掘調査の現状について ⑥町立幼稚園あり方検討委員会について ⑦県民体育大会の開催について その他 ①6月・7月行事予定について ②第6回定例教育委員会の開催日	承認 承認

会議開催日	区分	議事・報告(内容)	結果
6月25日 (火)	定例会	議案 ①日出町立学校の廃止について ②指定校の変更について	承認 承認
		報告 ①教育委員会学校訪問について ②学校給食センター厨房機器業者選定について ③県民体育大会の結果について ④県教委地域別意見交換会について	
		その他 ①7月・8月行事予定について ②7月定例教育委員会の開催日	
7月30日 (火)	定例会	議案 ①小学校の設置に関する条例の一部改正について ②中学校の設置に関する条例の一部改正について ③幼稚園の設置に関する条例の一部改正について ④教科書採択について	承認 承認 承認 承認
		報告 ①学力向上会議について ②大分県学力定着度調査について ③学校給食センター建設スケジュールについて ④学校給食会計決算について ⑤人権講演会について	
		その他 ①8月・9月行事予定について ②8月定例教育委員会の開催日	
8月29日 (金)	定例会	議案 ①区域外就学について ②日出町の子どものための教育に関する利用者負担額を定める条例及び幼稚園の設置に関する条例の一部改正について	承認 承認
		報告 ①令和元年度全国学力・学習状況調査について	
		その他 ①9月・10月行事予定について ②9月定例教育委員会の開催日	

会議開催日	区分	議事・報告(内容)	結果
9月25日 (水)	定例会	議案 ①区域外就学について	承認
		報告 ①「おおいた教育の日」推進大会について ②フッ化物洗口について ③第36回生涯スポーツフェスタについて ④学校給食センター建設スケジュールについて	
		その他 ①10月・11月行事予定について ②10月定例教育委員会の開催日	
10月25日 (金)	定例会	議案 ①区域外就学について ②日出町立学校の区域外就学の承諾に関する要綱の一部改正について	承認 承認
		報告 ①学校給食センター建設事業の進捗状況について ②南端幼稚園・小中学校に係る規則改正について ③児童文化祭について ④事務室改修について	
		その他 ①11月・12月行事予定について ②11月定例教育委員会の開催日	
11月28日 (木)	定例会	議案 ①学校管理規則等の一部改正について ②日出町スクールバス運行規則の廃止について ③幼稚園管理規則の一部改正について ④指定校変更の申し立てについて ⑤一般会計補正予算について ⑥平成30年度日出町教育委員会事務の点検評価について ⑦日出町立学校の区域外就学の承諾に関する要綱の改正について ⑧日出町就学援助費認定要綱の一部改正について ⑨日出町預かり保育実施要綱の廃止について ⑩日出町社会教育指導員設置規則の一部改正について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
		報告 ①授業日の見直しにかかる意見交換会について	
		その他 ①12月・1月行事予定について ②12月定例教育委員会の開催日	

会議開催日	区分	議事・報告(内容)	結果
12月25日 (水)	定例会	議案 ①区域外就学について ②指定校の変更について	承認 承認
		報告 ①学校給食センター建設事業の進捗状況について ②成人式について ③文化財防火訓練について ④新春健康マラソン大会について	
		その他 ①1月・2月行事予定について ②1月定例教育委員会の開催日について	
1月24日 (金)	定例会	議案 ①区域外就学について ②指定校の変更について	承認 承認
		報告 ①小中学校、幼稚園の卒業（園）式等の出席者割当について ②第2回学力向上会議の日時と対応について ③全国体力・運動能力、運動習慣等調査について ④新春健康マラソン大会等行事について ⑤芸術文化鑑賞イベントについて ⑥第62回県内一周大分合同駅伝競走大会について	
		その他 ①2月・3月行事予定について ②2月定例教育委員会の開催日について	
2月26日 (水)	定例会	議案 ①区域外就学について ②指定校に変更について ③令和元年度一般会計補正予算案（第6号）について ④令和2年度一般会計当初予算案について ⑤日出町立学校管理規則の一部改正について ⑥日出町視聴覚ライブラリーの設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	承認 承認 承認 承認 承認 承認
		報告 ①南端小中学校、幼稚園に閉校閉園式典について ②令和元年度日出町標準学力調査について	
		その他 ①3月・4月学校行事予定について ②3月定例教育委員会の開催日について	

(2) 令和元年度 教育長及び教育委員活動実績

活動実施日	区分	活動実績(内容)
平成31年4月1日	月式典	辞令交付式(視聴覚室)
4月1日	月式典	年度始め式(大会議室)
4月2日	火会議	日出町学校教育指導方針説明会(中央公民館)
4月3日	水会議	臨時教頭会
4月4日	木会議	学力向上推進委員会
4月10日	水式典	町内中学校入学式
4月11日	木式典	町内小学校入学式
4月12日	金式典	町内幼稚園入園式
4月18日	木会議	体育協会理事会
4月19日	金会議	大分県市町村教育長会議(全労済ソレイユ)
4月21日	日行事	各地区体育祭
4月22日	月会議	定例校長会
4月23日	火会議	日出町文化財保護委員会(中央公民館)
4月24日	水会議	体育協会総会(中央公民館)
4月25日	木会議	定例教頭会
令和1年5月10日	金会議	全国町村教育長会議(東京) 5/10~5/11
5月11日	土式典	大分県立武道スポーツセンター開館記念式典
5月13日	月会議	管内教育長会
5月14日	火会議	人権社会確立第39回全九州研究集会(ビーコンプラザ)
5月14日	火式典	県民体育大会結団式
5月15日	水会議	日出町子ども会育成会連絡協議会総会(中央公民館ホール)
5月16日	木会議	九州地区町村教育長会協議会(鳥栖市) 5/16~5/17
5月18日	土行事	各中学校体育祭
5月21日	火会議	別府地区社会人権同和教育研究協議会総会(視聴覚室)
5月23日	木会議	学校給食センター建設推進本部会議
5月25日	土行事	各小学校運動会
5月26日	日行事	県民体育大会開会式(昭和電工武道スポーツセンター)
5月27日	月会議	産業文化祭り実行委員会
5月28日	火会議	大分県市町村教育委員会連合会総会(ウサノピア)
5月29日	水会議	日出町教育研究協議会
5月30日	木会議	県人権教育研究協議会総会(県教育会館)
5月31日	金会議	定例校長会
6月1日	土行事	郡中学校総合体育大会
6月4日	火会議	議会定例会 6/4~6/21

活動実施日	区分	活動実績（内容）
6月5日	水	会議 定例教頭会
6月5日	水	会議 教科用図書採択協議会
6月5日	水	会議 スポーツ少年団総会
6月11日	火	会議 日出町社会教育委員の会
6月14日	金	行事 萬里忌辰祭
6月14日	金	会議 給食センター厨房機器選定委員会
6月18日	火	会議 習熟度別公開授業（算数）
6月19日	水	会議 豊岡小校内研修
6月20日	木	会議 管内初任研授業参観（日出中）
6月22日	土	行事 大分県民体育大会 6/22～6/24
6月24日	月	学校訪問 教育事務所訪問（大神小、支援センター、藤原小、川崎小）
6月25日	火	会議 生徒指導総合連携推進委員会
6月26日	水	学校訪問 教育事務所訪問（日出中、日出小）
6月27日	木	会議 図書館協議会
6月28日	金	会議 管内初任研授業参観（日出小・日出中）
6月28日	金	会議 日出中校内研修
6月29日	土	行事 日出町区対抗ソフトボール大会
6月30日	日	行事 子ども会ミニバレー大会
7月1日	月	会議 管内初任研授業参観（日出小）
7月1日	月	会議 県教委地域別意見交換会
7月2日	火	会議 管内初任研授業参観（豊岡小）
7月2日	火	会議 大神幼園内研修
7月2日	火	会議 学校給食センター建設推進委員会
7月3日	水	会議 学校給食センター運営委員会
7月3日	水	学校訪問 教育委員会学校訪問（豊岡小、幼、日出小）
7月5日	金	学校訪問 教育委員会学校訪問（川崎幼、小、日出幼）
7月5日	金	会議 大神小公開授業（理科）
7月7日	日	行事 おおがサマーフェスタ
7月8日	月	学校訪問 教育委員会学校訪問（大神小、幼、大神中）
7月8日	月	会議 議会臨時会 7/8～7/9
7月9日	火	学校訪問 教育委員会学校訪問（藤原小、幼、日出中）
7月10日	水	会議 定例校長会
7月11日	木	会議 ひじ産業文化祭実行委員会
7月12日	金	学校訪問 議会学校訪問
7月12日	金	会議 川崎小校内研修
7月16日	火	会議 定例教頭会

活動実施日	区分	活動実績（内容）
7月16日	火	会議 豊岡幼園内研修
7月17日	水	会議 大神中・日出小校内研修
7月17日	水	会議 日出町人材育成研修会
7月18日	木	会議 教科用図書採択協議会
7月25日	木	行事 中学校県総体 7/25～7/26
7月31日	水	会議 評価・点検第三者委員会
7月31日	水	会議 郡学校保健会総会
8月1日	木	式典 イングリッシュ・デイ開会式（ホール）
8月1日	木	会議 九州地区市町村教育委員会研修大会
8月2日	金	会議 給食センター厨房機器業者選定プロポーザル
8月5日	月	会議 日出町幼稚園研修会
8月8日	木	講演会 人権教育講演会
8月17日	土	式典 第42回豊岡・森子ども交歓キャンプ
8月17日	土	行事 日出町納涼盆踊り大会
8月21日	水	会議 学力向上会議（日出小）
8月22日	木	会議 大分県市町村教育長協議会総会
8月23日	金	会議 日出町子ども議会（本会議場）
8月27日	火	会議 定例校長会
8月27日	火	会議 学力向上会議（豊岡小）
8月28日	水	会議 初任者授業研（日出小）
8月28日	水	式典 少年の主張大分県大会（中央公民館）
8月29日	木	会議 初任者授業研（日出小）
8月29日	木	会議 若手教職員研修会
9月1日	日	実地訓練 大分県東部地区総合防災訓練（日出町川崎）
9月3日	火	会議 日出町議会定例会 9/3～9/30
9月3日	火	会議 学校給食センター建設推進本部会議
9月4日	水	会議 定例教頭会
9月10日	火	会議 深い学びを実現する協議会（日出中）
9月11日	水	会議 大神小校内研修
9月17日	火	会議 川崎小初任研提案授業
9月18日	水	会議 人材育成研修会
9月21日	土	式典 日出町交通安全大会
9月24日	火	会議 学力向上支援教員公開授業
9月30日	月	会議 日出町体育協会表彰審議会
10月1日	火	会議 人権教育・啓発推進本部会議
10月2日	水	会議 ひじ産業文化まつり実行委員会

活動実施日	区分	活動実績(内容)
10月2日	水	会議 大分県・東部地区総合防災訓練振り返り会議
10月3日	木	会議 定例校長会
10月4日	金	会議 幼保小連携推進協議会・園内研究会
10月6日	日	行事 子ども会綱引き大会
10月7日	月	会議 定例教頭会
10月8日	火	会議 ザビエルの道実行委員会
10月10日	木	会議 新春健康マラソン大会実行委員会
10月11日	金	会議 部落解放同盟交渉
10月13日	日	行事 生涯スポーツフェスタ
10月17日	木	会議 豊岡小初任者授業研
10月20日	日	行事 ザビエルの道ウォーキング大会
10月21日	月	会議 日出中初任者授業研(数学)
10月24日	木	会議 大神中初任者授業研・校内研修
10月25日	金	会議 国東半島駅伝全体会議
10月27日	日	行事 各地区ふるさとまつり
10月28日	月	会議 日出中初任者授業研(理科)
10月30日	水	式典 日出総合高校創立110周年記念式典
10月30日	水	会議 図書館協議会
10月31日	木	会議 大分県市町村教育長会議
10月31日	木	会議 豊岡小初任者授業研
11月1日	金	式典 おおいた教育の日推進大会(くすまちメルサンホール)
11月2日	土	式典 ひじ産業文化祭 11/2~11/3
11月3日	日	式典 日出町功労者表彰式
11月6日	水	会議 英語専科教員公開授業(豊岡小)
11月7日	木	会議 学力向上支援教員公開授業(日出中)
11月7日	木	会議 管内教育長会
11月8日	金	会議 学校給食センター建設推進本部会議
11月9日	土	会議 日出町PTA連合会研修会
11月11日	月	会議 定例校長会
11月13日	水	会議 川崎小校内研修
11月13日	水	会議 学校給食センター建設検討委員会
11月17日	日	式典 日出町児童文化祭
11月19日	火	学校訪問 事務所訪問(藤原小・川崎小・日出小)
11月20日	水	学校訪問 事務所訪問(大神中、日出中)
11月21日	木	式典 「人権の花」運動感謝状贈呈式(豊岡小学校)
11月22日	金	会議 スポーツ少年団会議

活動実施日	区分	活動実績（内容）
11月24日	日 行事	国東半島駅伝競走大会
11月25日	月 学校訪問	事務所学校訪問（大神小、豊岡小）
11月26日	火 会議	定例教頭会
11月26日	火 会議	学力向上支援教員公開授業（大神小）
11月27日	水 会議	初任者授業研（日出小）
11月28日	木 会議	若手教職員研修会提案授業（川崎小）
12月4日	水 会議	初任者授業研（川崎小）
12月5日	木 会議	日出町議会定例会 12/5～12/24
12月7日	土 行事	日出町人権フェスティバル
12月12日	木 会議	若手教職員研修会提案授業（豊岡小）
12月14日	土 会議	障がい者スポーツ体験講座
12月16日	月 会議	初任者授業研（大神中）
12月18日	水 会議	定例校長会
12月18日	水 会議	大神小校内研修
12月19日	木 会議	初任者授業研（日出中）
12月19日	木 会議	別府ブロック社会教育委員研修会
12月24日	火 会議	学校給食センター建設推進本部会議
12月25日	水 会議	授業日の見直し意見交換会
12月26日	木 会議	臨時大分県市町村教育長会議
12月26日	木 行事	日出町教育文化講演会
12月26日	木 会議	臨時校長会
1月6日	月 式典	仕事納め式
1月6日	月 式典	新年祝賀互礼会
1月11日	土 式典	消防団特別点検（日出中グラウンド）
1月12日	日 式典	日出町成人式（中央公民館）
1月14日	火 会議	幼稚園教員との協議
1月15日	水 式典	交通安全1000日達成報告会
1月17日	金 会議	初任者授業研（豊岡小）
1月18日	土 訓練	文化財防火デー・文化財防火訓練（八津嶋神社）
1月19日	日 行事	日出町新春健康マラソン大会
1月22日	水 会議	速見郡人権・同和教育研究大会
1月23日	木 会議	別府教育事務所管内事務職員連絡協議会
1月23日	木 会議	学力向上支援教員公開授業（日出小）
1月24日	金 会議	大分県市町村教育長会議
1月27日	月 会議	定例校長会
1月27日	月 会議	学校給食センター建設推進本部会議

活動実施日	区分	活動実績（内容）
2月1日 土	式典	県内一周駅伝速見郡チーム結団式
2月3日 月	会議	定例教頭会
2月6日 木	会議	日出町いじめ問題対策連絡協議会
2月7日 金	会議	大分大学教職大学院学校実習運営協議会
2月10日 月	会議	生徒指導総合連携推進委員会
2月12日 水	会議	新春健康マラソン大会実行委員会
2月13日 木	会議	別府地区社会人権・同和教育研究協議会
2月14日 金	会議	日出町教育研究協議会運営委員会
2月14日 金	会議	日出町スポーツ少年団代表者会議
2月15日 土	式典	世界農業遺産中学生サミット(ウサノピア)
2月16日 日	行事	芸術文化鑑賞イベント(日出町中央公民館ホール)
2月17日 月	行事	県内一周大分合同駅伝応援
2月18日 火	会議	行財政改革推進本部会議
2月18日 火	会議	城下かれい祭実行委員会
2月18日 火	会議	学力向上会議(日出小)
2月20日 木	会議	学力向上会議(川崎小)
2月21日 金	行事	県内一周大分合同駅伝応援
2月25日 火	会議	大分県市町村教育委員会連合会総会打合せ
2月26日 水	会議	学校給食センター建設推進本部会議
2月27日 木	会議	日出町議会定例会 2/27～3/23
2月28日 金	会議	定例校長会
2月28日 金	会議	学力向上推進委員会
3月6日 金	式典	中学校卒業式
3月12日 木	会議	臨時校長会
3月12日 木	会議	学校給食センター運営委員会
3月13日 金	会議	城下かれい祭り実行委員会
3月16日 月	会議	新型インフルエンザ等対策本部会議
3月17日 火	式典	幼稚園卒園式
3月17日 火	会議	別府教育事務所管内教育長会
3月18日 水	会議	図書館協議会
3月19日 木	会議	臨時校長会
3月23日 月	会議	新型コロナウイルス感染症対策本部会議
3月24日 火	式典	小学校卒業式
3月26日 木	会議	城下かれい祭実行委員会
3月30日 月	会議	臨時校長会
3月31日 火	式典	教職員・事務局職員退職者辞令交付式

III 施策の点検・評価

1 点検・評価の項目

項目番号	基本目標	基本的施策	担当課	振興計画該当頁
1	人権を尊重する社会づくり	①人権教育・啓発の推進	社会教育課	1
2	幼稚園教育の充実	①教育内容の充実	学校教育課	2
		②教職員の資質向上	学校教育課	2
		③施設・設備の充実	教育総務課	3
		④家庭・地域との連携	学校教育課	3
		⑤小学校との連携	学校教育課	4
		⑥預かり保育の充実	教育総務課	5
3	義務教育の充実	①確かな学力の育成	学校教育課	6
		②豊かな心の育成	学校教育課	9
		③健やかな体の育成	学校教育課	10
		④特別支援教育の充実	学校教育課	12
		⑤地域・家庭・学校との連携	学校教育課	13
		⑥学校給食の充実	給食センター	14
		⑦施設・設備の充実	教育総務課	16
4	社会教育の振興	①世代に応じた学習機会の提供	社会教育課	17
		②子どもの健全育成	社会教育課	17
		③公民館活動を通じた人・地域づくり	社会教育課	18
		④図書館活動・サービスの充実	図書館	19
		⑤子ども読書活動の充実	図書館	20
5	歴史・文化的資源の保存・活用	①歴史・文化的資源の調査・研究	文化・スポーツ振興課	21
		②歴史・文化的資源の保存・活用	文化・スポーツ振興課	22
		③歴史・文化的資源の愛護・啓発	文化・スポーツ振興課	23
6	芸術・文化・スポーツの振興	①自主的で創造性豊かな芸術文化の振興	文化・スポーツ振興課	24
		②芸術・文化の創造と鑑賞機会の充実	文化・スポーツ振興課	24
		③ライフステージ(世代)に応じたスポーツの推進	文化・スポーツ振興課	25
		④競技スポーツの推進	文化・スポーツ振興課	27
7	グローバル人材の育成	①グローバル人材の育成	学校教育課	29

2 点検・評価シートの記載方法

- 点検・評価については、第2期教育振興計画に定める基本目標である
 - ・人権を尊重する社会づくり
 - ・幼稚園教育の充実
 - ・義務教育の充実
 - ・社会教育の振興
 - ・歴史・文化的資源の保存・活用
 - ・芸術・文化・スポーツの振興
 - ・グローバル人材の育成
- 以上の事務事業を点検・評価する。
- 「点検・評価」対象事業（基本施策）一つについて、1ページを原則とした。
- 「点検・評価」対象事業が複数課にまたがる場合は、「取りまとめの課」を記載した。
- 「点検・評価」対象事業ごとに、「基本施策」、「施策の目的、ねらい」、「令和元年度の取組実績、事業内容」「成果・課題及び目標」について事業の担当課が素案を作成し、教育委員の点検・評価を（内部評価）として記載した。
学識経験者からいただいた意見については、点検・評価第三者委員会（外部評価）の意見として記載した。

※評価基準ランク解説

5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。
4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
2	成果が上がっておらず、抜本的改革が必要である。
1	成果が上がっておらず、要廃止検討の必要がある。

基本目標 「人権を尊重する社会づくり」

1. 基本的施策		
①人権教育・啓発の推進		
2. 施策の目的、ねらい		
○全国的にいじめや暴力行為や虐待など、命に関わるような人権侵害問題が報告されている。人権問題の解決には教育が大きな役割を担っている。社会教育においては、学校・家庭・地域と連携しながら、人権を尊重する生活習慣や態度の育成によって、人権意識や人権感覚の向上および醸成を図る。学校教育においては、生涯学習の視点に立った人権教育・啓発のもと、人権意識や学習ニーズを的確に把握し、学習にあたり適正な段階を見極めた人権学習機会の充実に努める。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○日出町人権教育啓発推進協議会を組織し、目的達成に必要な事業を行っている。 ・日出町人権講座を年間6回開催 ・差別をなくす人権講演会の開催（8月） ・人権フェスティバルの開催（12月） （人権ポスター、人権標語、人権作文の募集と表彰） ・人権チラシ、人権だより「じんけん」の発行 ・校区別人権学習会の開催 ・人権コーナーの設置（中央公民館）人権総合事業 ○文部科学省委託事業「人権教育研究推進事業」を受託し「大神地区人権総合推進事業（あいプロジェクトinおおが）」を実施した。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○各事業とも充実してきている。 ○講座やフェスティバル後に意識調査（アンケート）を実施。 ○大神地区人権総合推進事業は、他団体との交流や事業共催などにより、大きな成果を得た。	
課 題	○人権意識や人権感覚の更なる深化 ○参加者の更なる拡大（特に企業への呼びかけ） ○ファシリテーターの育成	
目 標	○住民の人権意識向上のための取組強化 ○地区公民館を中心とした取組ができる、地域単位の体制づくり ○講演会や講座の充実	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	○講演会等の参加者は増加傾向にある。 ○大神地区人権総合推進事業は大きな成果を得た。 ○企業を含めた町全体の啓発を促進する余地がある。 ○さまざまな行事の中で啓発し人権意識を広げる余地がある。

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策		
①教育内容の充実		
2. 施策の目的、ねらい		
○幼稚園教育要領に沿った適切な教育課程を編成し、実施するとともに、地域との連携、地域資源の活用を図りながら、社会性を培う幼児教育の推進に努める。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○幼稚園教育要領に沿った適切な教育課程を編成・実施。 ○地域との連携、地域資源の活用を図る。 ○幼稚園教育において育みたい資質・能力の育成に努める。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○幼稚園教育要領を踏まえた創意工夫に基づく教育活動の充実	
課 題	○園内研修	
目 標	○全ての町立幼稚園で、園内研修を実施する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	○各幼稚園で園内研修を実施。小学校との接続を意識した協議会も行った。

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策		
②教職員の資質向上		
2. 施策の目的、ねらい		
○園内研修や園外研修、各種講座への積極的な参加を促進し、教職員の資質の向上に努める。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○各園の研究主題に沿った園内研修を計画的に進め、各園共通する重要なテーマについては、横断的に情報を共有し、関係機関とも連携を図った。 ○日出町幼稚園教員育成指標に基づき、人材育成に取り組んだ。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○幼稚園教育要領にある「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識した研修内容の充実	
課 題	○園内研修	
目 標	○全ての町立幼稚園で毎年度園内研修を実施	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	○園内研修の実施とともに、日出町幼稚園教員育成指標による教職員の資質・能力について振り返りを行った。

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策		
③施設・設備の充実		
2. 施策の目的、ねらい		
○施設や遊具の点検・維持・補修を行うことにより、園児の安全・安心な生活環境を整備する。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
<input type="checkbox"/> 遊具安全点検の実施 <input type="checkbox"/> 遊具修繕 <input type="checkbox"/> 施設老朽化対応 <input type="checkbox"/> 園庭除草・剪定作業 <input type="checkbox"/> 長寿命化計画の策定		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	<input type="checkbox"/> 遊具安全点検の結果に基づき危険性の高い箇所の修繕を行った。 <input type="checkbox"/> 長寿命化計画を策定した。 <input type="checkbox"/> 施設の老朽化については随時対応している。	
課 題	<input type="checkbox"/> 遊具点検の都度、不良個所の修繕を行っているが、老朽化の度合いが高いものについては更新を検討する必要がある。	
目 標	<input type="checkbox"/> 園児にとって安全・安心な施設環境を整備していく。 <input type="checkbox"/> 長寿命化計画をもとに中長期的な改修を実施していく。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	<input type="checkbox"/> 遊具の安全点検とそれに伴う危険個所の修繕は年度内に実施できた。また施設、設備の修繕についても年間計画に沿って対応とともに随時発生する不具合にも迅速に対応することができた。

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策		
④家庭・地域との連携		
2. 施策の目的、ねらい		
<p>○「園だより」や連絡帳等を活用して子どもたちの様子を知らせることや、直接話し合うなど、保護者との連携を密にし、共通理解を図る。</p> <p>○地域に情報発信するとともに地域と積極的な交流を図る。</p>		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
<p>○園から保護者に向け、積極的に情報を発信することによりコミュニケーションづくりを進めた。</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○「園だより」による情報の発信や、園公開により地域に開かれた園づくりを行った。	
課 題	○園公開	
目 標	○全町立幼稚園で毎年度実施する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	○全ての町立幼稚園で園公開を行った。

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策		
⑤小学校との連携		
2. 施策の目的、ねらい		
<p>○小学校生活に適応できない「小1プロブレム」の発生率は、調査を開始した平成21年度から年々減少しつつあるものの、引き続き幼稚園教育と小学校教育の、円滑な接続を図る必要があります。</p> <p>○平成29年に改訂された幼稚園教育要領についても学習を深め、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を小学校と共有する必要がある。</p>		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
<p>○小1プロブレムの防止について、幼稚園、小学校との連携を図り、合同研修・情報交換会を開催した。</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○小学校1年の担任が園内研究会への参加を行うことにより、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について捉えることができた。	
課 題	○保育参観の実施（年1回）	
目 標	○低学年の担任が、保育参観を行った学校の割合100%	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	5	○低学年の担任が、保育参観を行った学校の割合100%

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策		
⑥預かり保育の充実		
2. 施策の目的、ねらい		
○核家族化などにより保護者の託児ニーズが増加していることから、子育てを支援するため預かり保育の充実を図る。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○利用者数 常時預かり 延べ896人（前年比88人減） 臨時預かり 延べ 74人（前年比69人減） ○預かり保育指導員 12人（前年比 1人増）		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○共働き等の事情により長時間の保育を必要とする保護者のニーズに応えることができている。	
課 題	○預かり保育希望者数は園によって偏りがあり、多い園での指導員の確保が難しくなっている。また幼保無償化が今後の保護者ニーズや利用者数にどのように影響してくるかを注視していく必要がある。	
目 標	○園児の健全な発達を図り、保護者の子育てを支援する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	○全園で預かり保育を継続実施して、希望者全員が利用できる体制を維持することができた。

基本目標 「義務教育の充実」

1. 基本的施策		
①確かな学力の育成		
2. 施策の目的、ねらい		
○学習習慣の定着や低学力層の底上げのため、習熟度別指導、少人数指導や各校の実態に合わせた補充学習等を行い、授業における習熟の程度に応じた指導の充実を図る。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○日出町標準学力調査 ○大分県学力定着状況調査 ○全国学力・学習状況調査		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○日出町標準学力調査において、全国平均を上回った教科が多い。	
課 題	○小6の算数及び中1の社会、中2の数学・社会においての授業改善が求められる。	
目 標	○日出町標準学力調査 小学校：正答率60%未満の児童の割合20%以下、中学校：正答率50%未満の生徒の割合を全教科で達成する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	○小5の算数に課題が見られる。また、中1の社会、中2の数学・社会において授業改善が求められる。

基本目標 「義務教育の充実」

1. 基本的施策		
②豊かな心の育成		
2. 施策の目的、ねらい		
○道徳の時間を要として、学校の教育活動全体を通して豊かな人間性や公徳心、社会性を育む道徳教育の充実に努めます。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○小・中学校における道徳の授業		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○各学校で重点目標を設定し、その目標に沿った授業内容の工夫を行い、道徳の授業を年間35時間以上実施した。	
課 題	○各学校の重点目標に沿った授業内容の工夫と、道徳の年間授業時数35時間以上の確実な実施。	
目 標	○全小・中学校で実施する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	○全小・中学校で、学校ごとの重点目標に沿った授業内容の工夫を行い、道徳の授業を年間35時間以上実施した。

基本目標 「義務教育の充実」

1. 基本的施策		
③健やかな体の育成		
2. 施策の目的、ねらい		
○全国の体力・運動能力調査では日出町の小学校の平均値が、項目によっては大分県の平均値を下回っていることが、課題としてあげられる。各校では、児童生徒の実態に合わせた目標を設定し、体力向上に向けた独自のメニューを作成する1校1実践の取組を進める。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○各校で体力向上プランを作成し、推進委員を中心に取組を進めた。特に、小学校では、体育専科教員を町内に1名配置し、全小学校の指導にあたった。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の低体力層の割合において、小5男女、中2男が全国平均より少ない。	
課 題	○中2女子の低体力層の割合が、全国平均より多い。	
目 標	○低体力層（D E層）の割合が、小学校男子17%未満、女子15%未満、中学校男子20%未満、女子15%未満	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	○上記調査において、目標を達成できていない。

基本目標 「義務教育の充実」

1. 基本的施策		
④特別支援教育の充実		
2. 施策の目的、ねらい		
○各校の特別支援学級に在籍する児童生徒に対し、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成し、一人一人の障がいの状況・特性等を考慮したきめ細かな指導を行う。また、通常学級に在籍する支援の必要な児童生徒についても、「個別の指導計画」を作成する。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○特別支援学級に在籍する児童生徒の「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の作成 ○通常学級に在籍する支援の必要な児童生徒の「個別の指導計画」の作成		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○全小・中学校で実施できた。	
課 題	○「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」をもとに、一人一人の障がいの状況を考慮したきめ細かな指導・支援を確実に実施	
目 標	○特別支援学級に在籍する児童生徒の「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成 ○通常学級に在籍する支援が必要な児童生徒の「個別の指導計画」を作成	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	5	○全小・中学校で、全ての該当児童生徒について計画の作成を行った。

基本目標 「義務教育の充実」

1. 基本的施策		
⑤地域・家庭・学校との連携		
2. 施策の目的、ねらい		
○地域、家庭との連携を図るため、学校運営協議会を設置し、保護者や地域住民とともに、子どもたちの豊かな成長を支える取組を進める。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○学校運営協議会を全小・中学校に設置し、地域・家庭との協働・連携を図る。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○全小・中学校で、学校運営協議会を設置し、地域・家庭との連携を図った。	
課 題	○学校運営協議会委員以外の保護者等の参画意識の醸成	
目 標	○学校運営協議会の活動に関する広報を指導	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	○全小・中学校で学校運営協議会の活動内容について、学校だより等でお知らせを行った。

基本目標 「義務教育の充実」

1. 基本的施策		
⑥学校給食の充実		
2. 施策の目的、ねらい		
<p>○学校給食法に基づき、給食による子ども達の心身の健全な発達に取り組むこと。また、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うため、学校給食を活用した食に関する指導をはじめとした、食育の推進に取り組む。</p> <p>○学校給食衛生管理基準に則り、給食センター設備等の日頃からの点検と衛生管理体制の徹底及び充実を図る。</p>		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
<p>○学校給食を教材とした授業や特別活動に引き続き取り組み、内容の充実を図った（計76回）。新たな試みとして、小学校家庭科部会と連携し「給食を活用した弁当作り」による食指導を行った。また、「学校給食における食物アレルギー対応基本方針」を作成し運用を開始した。</p> <p>○新センターの更新事業に本格的に着手し、用地の造成、実施設計及び厨房機器の選定を完了した。厨房業者の選定にあたっては、豊かな創造性、高度な技術力、経験、実績及びコストの縮減等、質の高い提案を求めるため、プロポーザルを行い、3社のうちから最も優れた提案のあった業者に決定した。また、選定委員9名のうち4名は栄養士・調理員に委嘱し、実際に献立・調理を行う専門性の高い人材の意見を重視した。</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	<p>○アレルギー対応方針の作成によりマニュアルが確立され、栄養士と教員の共通理解と連携のもと、よりきめ細かなアレルギー対応ができた。</p> <p>○プロポーザル選定においては、献立を作る栄養士と調理場で働く調理員が、持てる知識と経験を十分に活かし、最も優れた提案者を評価・決定することができた。</p>	
課 題	<p>○現センターの老朽化により、突然の修繕等が続いている、日々の給食提供に不安を抱えている。</p> <p>○食材費の価格高騰は依然続いている、給食費の値上げは免れない。</p>	
目 標	<p>○衛生管理や異物混入及びアレルギー対策等に細心の注意を払い、安全・安心でおいしい給食を提供する。</p> <p>○新センターの完成に向け、部署を横断した連携体制により今後も取り組む。</p>	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	<p>○新型コロナウイルスにより、3月に小・中学校が休校になったため、食材のキャンセル等、対応に追われた。また、幼稚園のみ給食を再開することとなったが、少人数に対応した献立作成・調理にも栄養士・調理員の工夫により無事実施することができた。これら異例の事態もあったが、年間を通じて安定した給食の提供ができた。</p> <p>○プロポーザルを前倒して、早期に厨房業者を決定したこと、厨房機器の仕様を実施設計に十分反映することができた。</p>

基本目標 「義務教育の充実」

1. 基本的施策		
⑦施設・設備の充実		
2. 施策の目的、ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ○児童・生徒の安全を確保し、安心して学べる環境を整備する。 ○教育環境の充実を図る為、小学校に空調の整備を実施することにより、生徒が快適な環境で集中して学習できるように、教育環境の質的な向上を図る。 ○老朽化した施設の維持、補修を計画的に実施していく。 		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
<ul style="list-style-type: none"> ○空調設備設置整備事業 (豊岡小、大神小) ○日出小 プールろ過機取替工事、プール塗装工事 ○川崎小 下水道接続工事、体育館照明LED化工事 ○日出中 高置水槽改修工事 ○長寿命化計画策定 		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○全小中学校の空調設備設置事業を完了することができた。 ○施設の修繕は年間計画に基づき実施することができた。 ○長寿命化計画を策定した。 	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ○今後は本年度策定した長寿命化計画を元に計画的な改修を実施していくが、学校施設の老朽化対策には多大な費用がかかるため財政面を考慮しながら進めていく必要がある。 	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○児童、生徒の良好な学習環境を整備していく。 ○長寿命化計画をもとに中長期的な改修を実施していく。 	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	<ul style="list-style-type: none"> ○空調設備を全小中学校に整備したことで児童生徒の良質な学習環境を確保することができた。また学校施設の老朽化にともなう不具合については年間計画に基づき対応し、突発的な修繕には適宜対応している。

基本目標 「社会教育の振興」

1. 基本的施策		
①世代に応じた学習機会の提供		
2. 施策の目的、ねらい		
○生涯にわたる学習機会の確保のために、町民のニーズに合わせた講座や教室を計画的に開催し、幅広い層が気軽に参加できるような場の提供や情報提供に努める。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○日出町中央公民館 ・公民館大学（年6回開催） ・公民館主催教室 4教室（歴史教室、オカリナ講座等） ・公民館自主教室 34教室 ○各地区公民館 ・家庭教育講座（各地区年2回）全5地区で開催 ・高年者学級（各地区年2回・川崎地区のみ3回）全6地区で開催		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○初心者を対象として新しい教室や内容の充実に取り組んだことで、新規の教室生の増加につながった。	
課 題	○幅広い年齢層の参加や学習内容のアウトプットに繋がるようあまりできていない。	
目 標	○幅広い年齢層の方が個々のニーズに応じた生涯学習に取り組み、学習内容を社会に還元できるような機会づくりを行う。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	○新しい主催教室は夜間に開催し、忙しい人でも気軽に来れるように部分参加も歓迎するなど参加者が来やすい雰囲気づくりを行うことができた。 ○事業内容については歴代から在るもののがほとんどであるので、町民の方への情報提供の方法を工夫してさらなる利用者の増加を図っていきたい。

基本目標 「社会教育の振興」

1. 基本的施策		
②子どもの健全育成		
2. 施策の目的、ねらい		
○核家族化や地域コミュニティの希薄化等、青少年を取り巻く環境が変化しています。青少年が明るく育つ環境をつくりあげるため、家庭・学校・地域との連携を図るとともに、自治会を基盤とする単位子ども会活動の活性化を図る各種事業を計画・実施します。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
<p>○子ども会育成会連絡協議会と連携して事業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会スポーツ大会（競技：ミニバレーボール） ・児童文化祭（内容：芸能発表会、活動発表会（かべ新聞・作品）） ・子ども会対抗綱引大会（部門：選手権の部、親子混合の部） ・夏休み子ども教室（期間 7月 26 日～8月 9 日間に全 9 教室を実施） ・ジュニア・リーダー研修会…新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止 		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○各単位子ども会において、子ども、保護者、地域住民で連携し、充実した子ども会活動が自主的に展開された。	
課 題	○開催時期の変更等、主体的な活動をされている一方で、事業のマンネリ化が懸念される。また行政主導の取り組みが中心で、地域の中での主体的な青少年健全、育成活動が広がっていない。	
目 標	○家庭・地域・学校が一体となった青少年健全育成町民会議の推進。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	○各区育成会長が地域の中で主体的に行動していく体制ができていない。

基本目標 「社会教育の振興」

1. 基本的施策		
③公民館活動を通じた人・地域づくり		
2. 施策の目的、ねらい		
○自治公民館・単位子ども会など、地域コミュニティにおいて自主的な活動を行っている組織の役員やリーダーを対象とした各種研修会を実施し、それぞれの地域の指導者やリーダーとして必要な資質向上を求め、地域の社会教育力の向上を図る。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○自治公民館長及び主事等研修会の開催（年3回実施、①5/30、②10/24、③3/5） ※第3回（3/5）は新型コロナウイルスの影響で中止 ○大分県公民館研究大会への参加（10/16豊後高田市、20名） ○子ども会指導者研修会の開催（6/8、育成者96名参加） ○子ども会リーダー研修会の開催（6/8、リーダー109名参加）		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○自治公民館連絡協議会や子ども会育成会連絡協議会と連携して、各種研修会を開催、参加して、地域における指導者としての育成を図った。	
課 題	○社会教育専門職員として、専門的に職務に携わるのが難しく課題となっている。また、すぐには成果として現れないで、継続した取り組みが必要である。	
目 標	○担当職員一人ひとりが、社会的要請や地域課題の把握に努め行動する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	○各種研修会は計画通りに開催・参加し、各自治公民館や単位子ども会においてそれぞれ活動できているが、役員が単年で変わることが多いため、地域の指導者になるまでには至っていないのが現状であり課題となっている。

基本目標 「社会教育の振興」

1. 基本的施策		
④図書館活動・サービスの充実		
2. 施策の目的、ねらい		
<p>○図書館は、単に本を貸し出すだけではなく、日出町の人財育成に欠かせない役割を担う場所であり、町立図書館は、従来の図書館のイメージにとらわれない、コミュニティーセンター的な役割を持たせ、「子どもから大人まで全ての町民が集い、学び、交流する」文教の町「ひじ」にふさわしい「交流と学びの拠点」を基本理念とし、町民のニーズを取り入れながら、町民とともに育つ、新しい情報発信の拠点となるような図書館運営を目指す。</p>		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
<p>○利用者の生涯学習を支える資料の収集と提供 ・地域課題に対応した資料の収集に努め、地域の情報拠点としての役割を果たす。 ○郷土資料の収集保存と提供 ・日出町に関する資料及び出版物の収集保存を行う。 ○広報活動の充実 ・町報、ホームページ、図書館だより、SNS等を通じて、行事や新着図書等を周知する。</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○町民ニーズを取り入れながらの資料収集ができ、広報を通じて、行事や新着図書等の周知ができた。	
課 題	○全ての町民が集い、学び、交流する「交流と学びの拠点」を目指す。 ○未来館者を、いかにして図書館に呼び込むか。	
目 標	○新たな情報発信の拠点となるような図書館を目指す。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	○町民ニーズを取り入れながらの、本の展示・収集ができ、広報・SNS等を通じて、行事や新着図書等の周知ができた。

基本目標 「社会教育の振興」

1. 基本的施策		
⑤子ども読書活動の充実		
2. 施策の目的、ねらい		
<p>○今の子どもたちは、周囲にテレビやゲームなど楽しい物がたくさん溢れ、また塾やスポーツクラブなどに通っていたりと、とても忙しい日々を送っていて、図書館でゆっくり本を読むようなゆとりはない。しかし、次世代を担う子どもたちの教育には、読解力や創造力、思考力、表現力など生きていく上には必要不可欠であり、それらのことを学ぶには、読書はなくてはならないものである。そのためには、その子どもたちにあらゆる場所であらゆる機会に、読書のできる環境をつくり整備する必要があると考える。</p>		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
<p>○毎月第2・4土曜日には、乳幼児から幼稚園児を対象としたブーフーウーによる「読み聞かせ」 ○毎月第4土曜日には、乳幼児を対象としたFUMFUM（ふむふむ）による「読み聞かせ」 ○9月から2月まで町内各幼稚園へブーフーウーによる「読み聞かせ」 ○毎月第3木曜日には、4ヶ月児対象の「ブックスタート」 ○毎月第3金曜日には、手づくり絵本の会による「布絵本つくり」 ○夏休み期間には、町内小中学校生を対象にした「読書感想文・感想画コンクール」</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○定着した行事として一定の成果をあげている。	
課 題	○魅力ある行事の実施と参加者へのPR、参加者の増加	
目 標	○新しい行事計画の実施及び広報活動を充実させることによる参加者の拡大	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	○乳幼児から小学生の読者の増大とともに乳幼児の保護者層が増大した。

基本目標 「歴史・文化的資源の保存・活用」

1. 基本的施策		
①歴史・文化的資源の調査・研究		
2. 施策の目的、ねらい		
○日出町には、特色ある歴史・文化が育まれ、これを物語る文化遺産が各地区に数多く所在しています。文化遺産の収集・調査・研究を通じ、郷土の歴史・文化、先哲を象徴する文化財として保護価値を定め、次の世代に守り伝えていきます。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○宇佐・国東六郷満山の歴史を持つ願成就寺の寺宝「銅造懸仏」「木造懸仏残欠」（鎌倉時代後期）を町有形文化財に、同寺日本尊の「木造薬師三尊像」（平安時代末期）を県有形文化財に指定しました。この他、給食センター建設に伴う「友田遺跡」の本発掘調査（中世末～近世初頭の集落関係遺跡）を実施し、「日出藩御茶屋襟江亭」「日出藩主日記」等の文化財調査や日出町の歴史性を象徴する文化財の抽出調査を継続して実施しています。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○日出町の歴史性を象徴する文化財を、新たに指定保護を図ることができました。	
課 題	○文化財を適切に保存し、積極的な活用を図るためには、調査と評価が極めて重要であり、数ヶ年の事業期間を要します。	
目 標	○日出町の歴史性を象徴する文化財を抽出し、中・長期的計画にて調査を実施し、年間1件の文化財指定・登録を目指します。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	○日出町の歴史を象徴する文化財の新規指定保護、また、開発行為に伴う埋蔵文化財の保護を図ることができました。今後、日出町・日出町民の魅力・誇りを育む歴史資源・地域資源としての活用が期待されます。

基本目標 「歴史・文化的資源の保存・活用」

1. 基本的施策		
②歴史・文化的資源の保存・活用		
2. 施策の目的、ねらい		
○幾つもの時代を経て今日に受け継がれてきた文化財は、その価値を損なうことなく、次の世代へ保存継承を図ることが強く求められます。また、文化財は日出町・日出町民の誇りや魅力、活力を育む「唯一無二」の地域資源であるため、教育、観光などの諸分野と連携し、文化財の公開活用、郷土の歴史・文化、先哲の顕彰など普及啓発に取り組みます。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○講演会「参勤交代と日出藩」・特集展「日出藩主日記から読み解く参勤交代」を開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、講演会は中止、特集展は歴史資料館休館のため公開休止となりました。その代替措置として日出町HP上に、歴史コラムを定期掲載しました。この他、文化財体験講座「ひじはく-和綴じ本製作-」、歴史講座「致道館塾9期生課程」を開催しました。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○中止・休止の事業もありましたが、調査、研究、試作を積み重ね、その成果に基づく普及啓発として事業実施・公開することができました。	
課 題	○日出町の特色ある歴史性をテーマとする「特集展」を、継続かつ安定的に企画・運営可能な体制を構築することが強く求められます。	
目 標	○日出町の特色ある歴史性が、様々な分野や形態にて多様に活かされる普及啓発事業の構築を目指します。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	○調査・研究や試作を積み重ねた成果に基づく、充実した普及啓発事業に取り組むことができたと考えています。 ○開催中止となった歴史講演会・特集展については、再度、企画の充実を図り、次年度での開催を目指したいと考えています。

基本目標 「歴史・文化的資源の保存・活用」

1. 基本的施策		
③歴史・文化的資源の愛護・啓発		
2. 施策の目的、ねらい		
○日出町の歴史に根差して受け継がれてきた伝統芸能（民俗文化財）は、時代や社会の急速な変化により継承者が減少し、保存継承活動の停滞・消失の危機に直面しています。日出町に受け継がれてきた地域伝統芸能の象徴として位置付け、地域や諸分野と連携して継承者の育成及び育成支援に取り組みます。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○辻間楽・津嶋神楽ともに定期的練習を実施し、八津島神社大祭での奉納や城下かれい祭りでの公開活動などを行った。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○辻間楽・津嶋神楽ともに継承者が極めて少ない現状の下、保存継承活動を維持することができた。	
課 題	○成人層の継承者不足が深刻な課題で、特に児童主体の継承が常態化する辻間楽は、成人層の継承者確保・育成が急務です。	
目 標	○辻間楽・津嶋神楽を日出町の地域伝統芸能の象徴と位置づけ、その保存継承に向けた成人層の継承者の確保・育成を目指します。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	2	○辻間楽について、成人の保存継承者の人材確保・育成が滞り、依然として児童主体による保存継承の現状にあります。辻間楽・津嶋神楽の歴史・文化財価値、保存継承の意義を再検討し、活動の拡充・再構築を図る必要があります。

基本目標 「芸術・文化・スポーツの振興」

1. 基本的施策		
①自主的で創造性豊かな芸術文化の振興		
2. 施策の目的、ねらい		
○日出町文化協会加入団体の発表の機会を設け、活動に対する意欲の向上を図り楽しく自己を表現する事で自己肯定感を醸成し、文化的な地域活動の高揚を図る。また文化の魅力を若い世代に伝える事で高齢化や団体数の減少に歯止めをかけ後進への育成に努める。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○2019ひじ産業文化まつりの芸術作品展では、日出町文化協会団体の作品及び一般・障がい者の方にも出展いただき文化振興を図った。芸能発表会や芸術作品展、また関連イベントとしてカラオケ大会、謡曲大会、短歌大会、俳句大会、将棋大会を開催した。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○健常者や障がい者の枠を超えて、誰もが分け隔てなく文化活動に参加できる文化振興に取り組み地域活性化に繋げた。	
課 題	○高齢化による会員の減少により活動が困難な団体がある。	
目 標	○日出町文化協会の自主的な取り組みや運営ができるよう支援体制の強化に努める。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	○会員数は減少しているが、イベント時には体験教室などを設け自主的な取り組みも見られた。

基本目標 「芸術・文化・スポーツの振興」

1. 基本的施策		
②芸術・文化の創造と鑑賞機会の充実		
2. 施策の目的、ねらい		
○2019ひじ産業文化まつり及び芸術文化鑑賞イベントを通じ、会員相互が切磋琢磨し、作品の創造性を深める環境の充実を図りながら、質の高い文化活動に直に触れる事で会員個々の更なる創造性の醸成に繋げ、団体や個人の活動意識や作品に対するモチベーションの高揚を図る。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○瀧廉太郎音楽祭では、国内にとどまらずイギリスで活躍されているソプラノ歌手ローナ・パズ・ニエートさんや大分県出身のピアニスト久保智史さんをお招きし、生の歌声を身近に感じ多くの観客を魅了した。2月の芸術文化鑑賞イベントでは長唄や落語を鑑賞し日本の伝統芸能や話芸を堪能した。		
成 果	○ひじ産業文化まつり及び芸術文化鑑賞イベントでは、多くの方に鑑賞いただき大盛況で幕を閉じた。	
課 題	○日出町文化協会加入団体は年々減少し、後進の育成に苦慮している。	
目 標	○住民の文化に対する理解や関心を高め文化活動の参加を促していくために、広報活動に力を入れる。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	○会員の高齢化により、活動が十分できていない団体もあるが、できるだけ多くの団体にイベント参加を促し、団体間の交流を促進し芸術文化の振興に努めた。

基本目標 「芸術・文化・スポーツの振興」

1. 基本的施策		
③ライフステージ（世代）に応じたスポーツの推進		
2. 施策の目的、ねらい		
○町民がスポーツに何を求めているかを的確に把握し、町民がいつでもどこでも多種のスポーツに親しむことができる環境づくりのため総合型地域スポーツクラブの自立支援に努める。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
<p>○令和元年度は以下の教室を実施し、町民ニーズに対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピラティスバレトン、親子リトミック、3B体操ジュニア、バトミントン、男子新体操、エクササイズ、ヨガ、スポーツチャンバラ、スポーツライフル、なぎなた、スポーツ吹矢、弓道、陸上、パン作り、太極拳、女子ソフトボール、スポンジボールテニス、ちびっこ空手体操、インドアテニス、ジョギング、らくらくピラティス。 <p>○町主催事業への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ザビエルの道ウォーキング大会、新春健康マラソン大会 		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○のべ会員数が333名から240名に減少した。	
課 題	<p>○会員数増加のための魅力ある教室の開催。</p> <p>○法人化に向けての検討。</p>	
目 標	○文化・スポーツ振興課、健康増進課及び福祉対策課との共同による事業の更なる展開及び自立に向けての計画策定。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	○健康づくりを主体とした事業を開催していくことで、多くの住民に知ってもらうことが必要。

基本目標 「芸術・文化・スポーツの振興」

1. 基本的施策		
④競技スポーツの推進		
2. 施策の目的、ねらい		
○体育協会加盟の競技団体並びに生涯スポーツ団体の組織強化を図るとともに、連携を密にし、競技力向上のプランや選手発掘、次世代を担う指導者育成等、競技人口の拡大と選手強化を目指す。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○体育協会理事会並びに体育協会部長・副部長会議の開催。会議の際に、要望書を配布し、意見集約を行う。生涯スポーツフェスタを開催。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○県民体育大会では、16チーム中11位の成績となり、昨年より1つ順位を落とし、B部残留を果たすことができなかった。 ○県内一週駅伝では、14位から16位に順位を落とした。	
課 題	○各競技部の要望を集約したものを理事会等で検討し、その実現につとめること。	
目 標	○県民体育大会では、一つでも多くの種目に参加できるようにする。生涯スポーツの普及を図る。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	○県民体育大会に出場できない競技団体が複数あるため、出場得点が獲得できていない。登録団体すべてが出場できるよう、各団体と連携を取りながら、選手確保に努める必要がある。

基本目標 「グローバル人材の育成」

1. 基本的施策		
①グローバル人材の育成		
2. 施策の目的、ねらい		
○令和2年度から、小学校5・6年で外国語が教科となります。グローバル人材を育成する観点からも、ALTや留学生との交流の機会をつくり、外国の言語や文化に接する環境を構築していくことが必要です。		
3. 令和元年度の取組実績、事業内容等		
○今後も継続して小・中学校にALTを配置します。英語教育の充実を図るため、ALTの増員を進めていきます。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	○令和2年度のALT増員へ向け、準備中。	
課 題	○小学校での、ALTの活用とともに、イングリッシュ・デイ等の実施による、異文化交流活動を推進していく。	
目 標	○町内小・中学校に配置する外国語指導助手人員数	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	○令和2年度9月からALTを小学校に3名、中学校に1名配置予定。

IV 点検・評価第三者委員会の意見

1 点検・評価第三者委員会委員の構成

学識経験者の選定にあたっては、日出町ゆかりの方を前提とし、色々な分野で見識の高い方の知見の活用を考慮した。

氏名	選出区分	任期
すが 菅 英一	学識経験者	令和元年7月1日～令和3年3月31日
うつのみや 宇都宮 敏樹	学識経験者	令和元年7月1日～令和3年3月31日
お がわ 小 川 郁	学識経験者	令和元年7月1日～令和3年3月31日

2 点検・評価第三者委員会会議の状況

○ 第1回日出町教育委員会点検・評価第三者委員会

日時 令和2年8月20日（木）午前9時00分～

場所 日出町中央公民館 2階 第3会議室

議事 1 令和元年度事業の概要について

2 第三者委員会が作成する点検・評価の項目等評価シート
について

3 点検・評価報告書の作成スケジュールについて

○ 第2回日出町教育委員会点検・評価第三者委員会

日時 令和2年10月23日（金）午前10時00分～

場所 日出町中央公民館 2階 第2会議室

議事 1 「点検・評価」対象事業の意見について

3 令和元年度事業 点検・評価第三者委員会委員の意見（総評）

（1）全体意見

- ・点検、評価シートを通して年度の成果や課題、次年度への目標や方向性を把握しやすい。十分な評価が得られなかつた課題については、次年度へつなげ PDCA サイクルが機能する形式をさらに推進してほしい。
- ・コロナ禍で、年度末より三密を避ける要請がなされ、今後も見通せない中、事業内容の多くが三密と関連し、活動を自粛せざるを得ないものが多い。難しい状況ですが、事業内容等を適宜再検討しながら基本的には継続や実施を目指して取り組みを進める努力を続けていただきたい。
- ・新学校給食センターの更新事業に本格的に着手したことによって完成への日程が定まったことから、各校の施設等への影響や、給食の配食などを調査の上、早目の対応をお願いしたい。
- ・小・中学校各校に空調設備が整備されたことにより、児童生徒の快適な学習環境が確保されたことは、近年の夏の猛暑日に対して非常に有効でした。
- ・大型の事業を抱え財政負担が大きいことから施設設備面においては、維持管理費用の増大を招かないよう日頃からの管理、修繕をお願いしたい。

（2）各基本目標意見

1. 【人権を尊重する社会づくり】

- ・人権問題は幅も広く、コロナ差別が訴えられるなど社会状況にも左右されやすい。事業内容にマンネリ化の声もあるが、毎年対象者自体は入れ替わっており講演会では参加者の増加も見受けられます。人権意識や人権感覚を高めていくために、今後も現状を見据えた内容を取り上げる等の改善を加えながら継続することが大切だと感じます。
- ・日出町人権教育啓発推進協議会の組織を中心に人権を尊重する意識の高揚に努めていると認められます。大神地区人権総合推進事業については成果があったことから、今後も人権意識の高揚につながる行事の開催や日頃からの啓発に努めることにつなげていただきたい。

2. 【幼稚園教育の充実】

- ・施設・設備面の充実に向けて遊具等の詳細な点検がなされており、危険個所の発見と迅速な修繕につながっています。また、シルバー人材センターと連携して環境整備に努めるなど、園児の安全、安心な生活環境づくりが進みました。今後さらに長寿命化計画に沿った対応が求められます。
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の小学校との共有が進み、「小1プロブレム」の解決や幼小の円滑な接続に効果が表れています。合同研修会や情報交換会を継続してさらに相互理解を図っていただきたい。
- ・預かり保育については、幼保無償化による状況の変化に対応して「子育て支援」の充実につなげていただきたい。
- ・園内研修の実施などにより教職員の資質、能力の向上に努めるとともに、各園との情報の共有や課題の解決に努めていただきたい。
- ・今後も情報の発信や園公開など、地域に開かれた園づくりに努めていただきたい。

3. 【義務教育の充実】

- ・「確かな学力」や「健やかな体」の育成に向け、具体的な数値目標をもとに各種調査の細やかな分析が積み重ねられ、実態に即した改善が行われ成果をあげています。
- ・年度末の全国一斉休校等の予期せぬ状況に対して、委員会や各学校で迅速かつ組織的な対応がなされ、混乱をおさえながら年度の締めや新年度につなげる取り組みが進みました。
- ・施設設備面で、空調施設の設置が完了したことは、コロナ禍での教育環境の向上につながりました。
- ・食物アレルギー対応基本方針の運用が開始され、よりきめ細やかなアレルギー対策、対応が進展しました。
- ・確かな学力の育成については、全国平均を上回った教科が多いとありますが、一部の教科についてはまだ課題が見られるとあることから、授業改善などそれぞれの習熟の程度に応じたきめ細やかな指導の充実に努めていただきたい。
- ・体力・運動能力調査では、項目によって県平均値を下回っていることについては、低体力層の割合を少しでも解消するよう日頃からの努力に期待したい。

4. 【社会教育の振興】

- ・図書館のコミュニティセンター的な役割が高まるような諸事業が実施され、定着してきた点が評価されます。コロナ禍で不透明さはありますが継続発展させてほしい。
- ・子どもの健全育成については、地域の中での行事の縮小や高齢化による行事の衰退があるのではないかと思います。育成会長の地域の活動については、保護者や地域の協力がなければ実施できるものではありません。各自治会の協力が得られる事業や行事の計画、各種行事への参加など、主役は子どもたちですから子どもたちや保護者の意見も聞ながら行事の開催を期待したい。

5. 【歴史・文化的資源の保存・活用】

- ・新たに「友田遺跡」の本格発掘調査が実施され、歴史資源の発見、保存、活用への取り組みが計画的に進められています。
- ・文化財の調査、評価には、時間を要することから計画的な実施を今後も進めていただきたい。
歴史・文化的資源の愛護・啓発については、依然として継承者の確保に苦慮しているようにあります。
ホームページなどへの活動の紹介や継承者の募集を検討してはと思います。

6. 【芸術・文化・スポーツの振興】

- ・ライフステージに応じたスポーツ環境の整備が進められてきたが、コロナ禍で参加希望者の減少や活動の自粛要請などのダメージが広がりました。回復へ向け、先を見通しながらの事業推進が求められます。
- ・芸術文化の振興については、高齢化や後継者の不足によって運営に支障がでてきていることから、活動に対する支援体制の強化と若い世代の参加を促す事業や鑑賞機会の開催を望みます。

7. 【グローバル人材の育成】

- ・外国語の教科化にむけ、ALTの増員配置へ準備が整っています。今後も、外部諸機関等とも連携して活きた交流の機会づくりを進めていただきたい。
- ・外国語教育の教科化によってALTの増員やスタッフの体制づくりを積極的にすすめ、更なる活動を広げていただきたい。